

10/18 金

梅田 18:30 ~ 21:00

都市行政コースシンポ「現代総有」

【趣旨】「現代総有」とは、土地や建物を全員で所有、利用し、その利益を全員、あるいは地域に還元するという考えです。物質的な豊かさを追求する中で、人や地域とのつながり、心のつながりが失われ、漠然とした不安を感じながら日々を過ごす現代社会において、「現代総有」は人々の間に新たな「絆」を築くための理論と実践を示すものとして大きな期待が寄せられています。今回はこの「現代総有」という視点から、私たちの中にある漠然とした閉塞感を振り払う鍵を探っていきます。

◀【基調講演】五十嵐敬喜氏（法政大学名誉教授・現代総有研究所所長）。1944年山形県生まれ。1968年東京弁護士会登録。法政大学法学部教授を経て、2018年6月に現代総有研究所を開設。『現代総有論序説』（共著）『美しい都市と折り』など著書、論文多数。

▶【司会】高野恵亮（都市経営研究科教授）法政大学大学院社会科学部研究科博士後期課程修了・博士（政治学）。著書に『戦後国会における議員立法』（志学社、2016年）、共著書に『都市行政の最先端』（日本評論社、2019年）、『現代日本宰相論』（龍溪書舎、2012年）等。



10/25 金

梅田 101 18:30 ~ 21:00

都市政策・地域経済コースシンポ「PPP（公民連携）で進める地域包括ケアシステム」

【趣旨】高齢化が急速に進展する中、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域が支え合いながら包括的な支援やサービス提供を行う地域包括ケアシステムの構築が進められています。今回は、サービス付き高齢者向け住宅を、行政と民間主体が円滑に連携するPPP（Public Private Partnership：公民連携）を活用して整備し、これを核として地域包括ケアシステムの構築を推進している学研コファンホールディングスの代表取締役社長を講師としてお迎えし、高齢者向け住宅の現状と課題、多様なPPP手法を活用したサービス付き高齢者向け住宅整備と地域包括ケアシステムの推進の動向等について学びます。

◀【基調講演】小早川仁氏（株）学研コファンホールディングス代表取締役社長）1990年4月（株）学習研究社入社、2009年5月より現職。（株）学研コファン・ナーサリ代表取締役社長、（株）学研コファンスタッフ代表取締役社長、（株）学研ホールディングス取締役。主な公職として、一般財団法人サービス付き高齢者向け住宅協会会長、高齢者住まい事業者団体連合会副代表幹事、一般社団法人高齢者住宅協会会長など多数。

▶【司会】佐野修久（都市経営研究科教授）北海道大学法学部卒、東洋大学大学院経済学研究科公民連携専攻修了。政府系金融機関、香川大学、釧路公立大学を経て現職。PPP/PFIや地域経営／公共経営について研究。



10/30 水

梅田 18:30 ~ 21:00

都市政策・地域経済／都市行政コース合同シンポ「公共経営と行政のイノベーション」

【趣旨】各教員の研究内容についてご紹介いただくとともに、都市経営研究科の代表的科目の内容紹介や模擬授業、新刊のテキスト『都市行政の最先端』等の説明を兼ねてシンポジウムをおこないます。

◀【第1講演】「論図とフューチャーセッション」公共セクターのイノベーションを加速化するためにはどんな取組方をすればよいだろうか。今回は、関係者間で問題を共有し衆知を集め共働を促す実践的手法を2つ、体験ワークも交え紹介したい。1つは、論図（論理思考を図解化するTOCfEメソッド）。もう1つは、フューチャーセッション（対話により未来共創を促すワークショップ）である。（講師プロフィール）江口雅祥氏（パブリック・ビジネス・インターナショナル代表）京都大学経済学部卒業。複数の民間リサーチ・コンサルティング会社等に勤務後、フリーランスに。人材開発・問題解決コンサルティングでは論図やフューチャーセッションを駆使した学び・創造の場づくりを実践している。都市経営研究科では非常勤講師として「公共経営論」他を担当。京都大学経営管理大学院修了（MBA）。

▶【第2講演】「ソーシャルイノベーションと新しい公共政策」公共セクターにおけるこれまでの改革や取り組みを振り返り、今後の新潮流として、マーケティング手法・視点を活用した社会課題の解決や、幸福度を軸とした地域経営への挑戦などを紹介しながら、これからの公共政策について考えます。（講師プロフィール）永田潤子（都市経営研究科教授）元大阪市政改革委員、海上保安大学校卒、埼玉大学政策科学研究科（修士・政策分析）、大阪大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得満期退学。著書に『パブリックセクターの経済・経営学』『図書館経営論』等がある。

▶【第3講演】「都市行政の最前線」高野恵亮（都市経営研究科教授）（講師プロフィール）上記参照。



11/8 金

梅田 18:30 ~ 21:00

都市政策・地域経済コースシンポ「自然な食と農による地域活性化」

【趣旨】今、集客による地域活性化や観光振興の場で、大きな革命（パラダイムシフトという考え方の変化）が起きています。名所旧跡などの有名な資源がないと人が来てくれなかった時代が終わり、ニューツーリズム革命という、個人の趣味や嗜好に基づく来訪行動に移行し、どのような地域でも既存の資源を磨くことで地域活性化が可能となっています。特に「自然な素材にもとづく地産地消の食」が地域活性化の最大のキラーコンテンツ（魅力）になりつつあります。自然な食・農による地域活性化の第一者に、豊富な事例を交えて講演いただきます。

▶【基調講演】金丸弘美（かなまる ひろみ）氏（総務省地域力創造アドバイザー、内閣官房地域活性化応援隊地域活性化伝道師、食総合プロデューサー）。著書に『田舎力 ヒト・物・カネが集まる5つの法則』（NHK生活人新書）、『幸福な田舎のつくりかた：地域の誇りが人をつなぎ、小さな経済を動かす』（学芸出版社）、『里山産業論「食の戦略」が六次産業を超える』（角川新書）等多数。【司会】小長谷一之（都市経営研究科教授）

